

今日は臨時に皆様に集まってお話しいただきまして大変ありがとうございます。ご存知のように昨日16時43分日向灘沖におきまして、マグニチュード7.1の地震が発生をし、そして南海トラフ地震の臨時情報「巨大地震注意」が19時15分に発表をされました。

そのことにつきまして、倉敷市としての現在の備えの状況、また市民の皆様にはぜひお伝えをしておきたいことを今日発表させていただきたいと思っております。

昨日の夕方4時40数分でございますが、地震が起きまして、携帯の方が鳴って、皆さん大変驚かれたことかと思えますけれども、今回、私が注目すべきところといたしましては、2019年にこの南海トラフ巨大地震の臨時情報の仕組みが発足をいたしまして、初めて、実際のこの臨時情報「巨大地震注意」ということが発表されたというところに、大変大きな意味があると思っております。昨日、気象庁の会見等皆さんご覧になったと思えますけれども、気象庁の方々もなぜこの地震の臨時情報「巨大地震注意」を発表したかというところで、1つには、マグニチュードが7.0以上8.0未満の地震が起こっているということ。それから検討する中で、この地域におけます地震の活動状況がこれまでと少し違ってきているという、これまでと一緒だったら、発表を多分されていないと思えますけれども、これまでよりも活動がだんだん活発の方向に向かっているという兆候を見られたというところで、多分、臨時情報「巨大地震注意」ということにつながったと、私なりに解釈をいたしております。

一方で、気象庁も言っておりますけれども、日頃の生活はしっかりしていただきながら、ただ1番大事なことは、しっかりと、そのいざという時に備えてのもの、これはこの「巨大地震注意」が発表されたということは、実際のところ、いつ、今後、起こるか、もちろん分からないわけですが、その中でこのまずは1週間に、この地震が再度起こる可能性につきまして、非常に注意をしようということで、この「巨大地震注意」を出されたと考えておりますので、そのところが私は大変重要な部分じゃないかと思っておりますのでございます。

日向灘沖では、去年もそうですけれども、春以降でもマグニチュード6.6の豊後水道での地震が発生をいたしました。その時にはこの臨時情報の検討会が開催をされましたけれども、臨時情報を出すということには至らなかったということがありました。その時ももちろん、活動の状況を調べられて出さないということになったと理解をいたしておりますので、今回は「巨大

地震注意」を出したというところが、私は1番、今後に備えていく大きな部分じゃないかと考えております。

ただでさえ、非常に、日本海域、これまでと比べて地震が非常に多くなっているようにとても感じております。ですので、もちろん通常の生活も続けていただきながら、しっかり準備をすると。いつ起こってもいいように準備をするということが今回の臨時情報「巨大地震注意」の最も大事なところだと思っておりますので、今日皆様にお伝えをしたいと思います、この場を設けさせていただきました。

まず、パワーポイントの日本地図のところがあると思えますけれども、この緑色のところが今回の南海トラフ地震防災対策推進地域の指定ということになっておりまして、我々もこの地域に入っております。今回、国の方からもこの地域について、特にしっかり準備をしてもらいたいということが来ております。我々のところは岡山県南ということで、ここに、その区域として入っておりますので、よりしっかり準備をしていかなければいけないところになっていると考えております。

さて、今後市民の皆様にごどのような準備をしていただきたいか、行動を、特に注意をしていただきたいか、ということを発表させていただきたいと思えます。今回、政府からの、気象庁からの発表にもありますように、概ね1、2週間程度の巨大地震への警戒を特に高めまして、今こちらに書いてあります、特に8項目のことについて、家族の方と一緒に地震への準備をしていただきたいと思えます。

1番最初に、水・食料など備蓄品の確認をお願いしたいと思います。

そして2つ目ですけれども、ハザードマップで避難場所・避難経路を確認していただきたいと思えます。まずは、主には、この避難場所は、今回南海トラフの地震が起こりましたら津波が来る。これはもう大きな地震が起きましたら、津波が来るというのは皆さんご存知だと思います。津波に対応した避難場所、もちろん避難場所じゃなくても、自分自身で高台に逃げる所が決まっている。それがあれば1番いいんですけれども、それをまだ知らない方については、地域の津波対応の避難場所、そして、その経路をぜひ確認をいただきたいと思えます。

3つ目に、室内の家具などの固定を確認していただきたいと思います。震度6強の地震が起こりますと、今回も、宮崎の中でもそうですけれども、多くのものが家の中で倒れたりされております。震度6強の地震になりますとタンスが倒れるということだけでなく、まさに、タンスが飛んでくるというような激しい地震になることも考えられます。ぜひ、自分が日頃からお休みになる場所については、周りにはこういう大きなもの、家具の固定をしていただくのは、ぜひお願いしたいんですけれども、そういうものがないところでの就寝をぜひお願いしたいというふうに思います。

4点目ですけれども、室内では最も安全で避難しやすい部屋でお過ごしをいただきたいと思います。もちろん日頃の生活の場所があるかと思いますが、その中でも、自分の家の中で最も安全だと思われる場所、もしくは、巨大な地震が起こって山崩れ等が起こった場合に山からは遠い方の場所など色々あると思いますが、自分の家の中で最も安全だと思われる部屋でのお過ごしをお願いしたいと思います。

5番できる限り、すぐに避難できる服装で就寝してくださいと書いてございます。すぐに外出できるような準備ができていただければ、いつも外出する時の服のまま寝ていただくことはございません。いざという時にすぐ逃げる準備ができて外に出られるようなこと、衣類を枕元に置いておく。そういう体制を取っておいていただきたいと思います。

6点目、非常持出品を枕元、玄関など、すぐに持ち出せる場所に準備をお願いしたいと思います。

7点目、携帯電話・携帯ラジオなどについての準備、そしてバッテリーの常に充電をしっかりとっておいていただきたいと思います。

8点目は家族との連絡手段を、再度確認をしていただきたいと思います。いざという時に連絡が取れなくてまた家に戻って、家族はどうなっているのかということを確認して、逃げ遅れてしまつてはいけません。連絡手段の再度の確認を家族間でお願いをしたいと思っております。

さて、今回大きな地震が、強い地震が起こった場合には、津波が来るということを申し上げました。これは南海トラフ地震の大きな特色の1つでもあります。私ども倉敷市でも、津波ハザードマップを、既に、以前より皆様に配布をしておりますが、この度、再度、この記者会見の後、津波ハザードマップ自体を倉敷の防災ポータルサイトの1番上のところに掲示をしまして皆様に再度、確認をしていただけるようにいたします。そのマップがここにあるマップであり

ます。津波は最大で、倉敷市内の津波浸水の深さは3mが予想をされております。倉敷市の津波ハザードマップにおきまして、最も大きな目安といたしましては、大きな地震から大体147分後、2時間半程度の時に、海面の上昇が見込まれると計算をいたしておりますし、その後、最初の地震から213分後、約3時間半ですけれども最大高さ3.2mの高さの津波が来ると想定をいたしております。その2時間、3時間を待つ必要はございません。とにかく準備ができたら高い所へ、高台へ、そして津波対応の学校に避難をしていただく、津波対応の避難場所に避難をしていただく。そうしていただきたいと思っております。

いざ、津波が起こりました時には、そこで今回改めまして、倉敷市の学校等の津波浸水想定区域のところの避難場所について、大きな地震が来たら高台に避難をしていただきたい。その場所について発表を再度させていただきたいと思っております。この1番目から20番目までの市内の主には学校でございませけれども、津波の時に避難をしていただくそれぞれの場所については想定区域外、高台にある場所でございます。その避難場所に逃げていただく、もちろん最初に申し上げましたように自分の家から高台があつて、ここに書いてある3.2mよりもっと高いところがあれば、そこが1番近いところであれば、安全だと確認できる場所であれば、そこに避難をしていただくこともできますが、なるべく高い所、避難場所だけじゃなくて大丈夫です。もちろん高い区域に住んでいらっしゃる親戚・家族・友達の方のところの避難をしていただく。そこが、なかなかないようであれば、この避難の場所に避難していただく。遠いようであれば、近くのところの高台に避難をしていただく。そのことについて先ほど最初に申し上げましたように、（この1枚2枚前のところの）ハザードマップで避難場所・避難経路を確認していただきたいと思っております。このページも、次のページも、そしてその次のページも、もちろん倉敷市の防災ポータルサイトに掲出をいたします。今のうちに、避難場所の確認、自分の周りの高台の場所の確認をしていただきたいし、そこに向けての避難経路、自分が安全と思える避難経路を確認していただきたいと思っております。

そして家族の方ともここで一緒に集合しようとか、そして自分はこの家族の、津波の時にはこの親戚のところの逃げるからそこで合流しようとか、そういう事前の話し合い、また連絡体制をぜひ取っていただきたいと思っております。今、申し上げたこの20箇所の倉敷市の津波対応の避難場所につきましては、昨日の臨時情報が発表されまして、今後、津波が、南海トラフ巨大地震が起こる場合が、今、この1週間程度が、非常に、いつもより高くなっていると、相対

的に高くなっていると言われておりますので、もちろんこのお盆の、これから来ます週末やお盆、1週間程度につきまして、皆さんが、地震が起きましたらこの学校に、学校だけではございませんけれども、逃げていただけるような体制を取っております。

1番近いところが自分の知っている高台であればそこに、それがないところであれば、こういう学校等の予め決まっているところに、もちろん1番いいのは、家族・親戚で浸水区域でないところのお家に行く。そういうことをぜひ、実際に準備をしていただく。そういう時期に、今回の臨時情報の「巨大地震注意」ということは皆様に、本当に具体的な準備をお願いする、そういう情報になっていると思っています。

さて、ここに載せておりますものについては、倉敷市で、9月号の広報紙の表紙、そして9月号の広報紙の中に折り込みをして全世帯に配布をするために、今まさに印刷をしているそのものでございますけれども、そのデータをこの記者会見の後、倉敷市の防災ポータルサイトに掲出をいたしまして、皆様をお願いをしたい避難の時に必要となる体制の持ち出すもの、それから家で避難をして非常の備蓄品というものの具体的なものを皆様にお示しをいたしております。

まずこちらの、先に黄色の方ですけれども、避難場所で2、3日過ごすことを考えた場合に避難所には自分自身の食べ物や必要なものは、ぜひ持って行っていただかないといけません。もちろん、ある程度はございます。ただ、1つの避難場所に多くの方が一挙に避難をしてこられる場合に全員分があるとは限りません。ですので、自分自身にとって必要となる物品、それから食べ物、医薬品などについて準備をして、そして、それを持ち出す準備をしていただきたいと思います。この非常持出品については、災害の危険が迫り自宅から避難する時に持ち出すものです。

これをぜひ確認をしていただきたいと思います。特に、色々なものがございますけれども自分自身しか分からない必要なものとしては、医薬品、常備品それから、もちろん免許証や健康保険証、お薬手帳などなど、それから貴重品、そういうものについては、皆さん自身が必ず持ち出していただかないといけないと思いますし、避難所に行っても十分にあると限らないものについては、ぜひ皆さんが自分自身のものについては持って行っていただきたいと思います。

続きまして、赤い方の非常備蓄品についてです。こちらは地震等が起こり、なかなか交通機関等も動かない、もしくは外に出るのがまだ安全かどうか分からない、そういう状況の中でまた食料等が外から来るかどうか分からないような状況の中で、ご自身の、自分、それから家族の皆さんのために備蓄をしておくべきものを掲出いたしております。

自宅で7日間、なんとか過ごせるような備蓄の品を、皆さんローリングストック、古いものから、古いと言いますか賞味期限が近いものから順次使っていただくなどして、それをこうローリングと言いますか、こう持ち回りしていただいて、準備をしていただきたいと思います。大きな地震が起こりましたら、流通経路についてもストップすることは大変容易に考えられます。ですので、皆さん、なんとか7日間、自分たちで過ごせるような物品を準備していただきたいと思います。水・食料品から衛生用品、そして、あると良いものまで掲出をしております。もちろん、皆さんにとりまして、それぞれの大事なものがあると思いますが、非常備蓄品として、特徴としては、1人分に必要なもの、かつ1日分の必要なもの、かつ、それが7日分として水だったら何リットルということがこう書けるような表にしておりますので、ここに皆さん書き込んでいただいて、特に備蓄品については家の冷蔵庫などにも、貼っておいていただいて、日頃からこれがちゃんと準備できているかどうか確認していただきながら、いざという災害に備えていただきたいと思います。

このリストについて、この記者会見の後、掲出をしますし、また9月号の広報紙の中に折り込み、表紙とそれから折り込みとして、これが入ってまいりますけれども、前もって今日緊急にこちらの方で発表もさせていただき、もちろん9月号には載りますが、地震への備えということとは、もうぜひ今日の今日から始めていただきたいと思います。

今後、気象庁の方から随時に臨時情報に関する情報を発表するということになるんじゃないかと思っております。

もちろん、1週間程度のまずは注意体制ということですので、その区切りでは、1つの何か発表があると思っておりますけれども、それ前のところで、今の国全体として言われている準備それから具体的にこの自分自身の非常持出品、それから非常備蓄品、それから前のページのいざという時に逃げる場所、逃げる場所、学校だけとは限りません。何度も言いますが、学校も全員が入れる、その面積というのには限りがあります。ですので、皆さん自分自身で高台にここに逃げれば津波が来ても大丈夫だということについて、特にお盆の期間に家族が帰省をされる方もいらっしゃると思っております。家族の皆さんとも相談して1回行ってみる。この1回行っ

てみるということがとても大事です。その場所のところに行く、そして実際に備蓄の品を自分自身で備蓄をしていく。その準備をぜひ、していただきたいということを私から申し上げたいというふうに思っております。

市といたしましては、今後もホームページ、また市の携帯のアプリなどで随時情報等、発表をしていきたいと、発信をしていきたいと思っておりますので、皆さん、自分自身の身、家族の安全は自分自身で守っていかねばいけません。ぜひ準備を進めていただけますようお願いを申し上げます、私からの冒頭の発表とさせていただきます。